

決算・業績予想ダイジェスト

2022年度第3四半期決算

増収・減益（2018年度以来4年ぶり）

- 売上高は、燃料費調整額の増加による影響
- 経常利益は、燃料価格の高騰や円安の影響、卸電力取引市場の価格上昇による電力調達コストの増加影響

2022年度業績予想および配当予想

2022年7月公表時から変更

売上高 **3兆800億円**

- 燃料費調整額の増加など

経常利益 **△2,400億円**

- 燃料価格の高騰や円安の影響、卸電力取引市場の価格上昇による電力調達コストの増加など

配当予想 2022年7月公表時から **変更なし**

➤ **売上高** 2兆1,324億円（前年同期に比べ7,334億円の増）

…燃料価格の高騰に伴う燃料費調整額の増加など。

➤ **経常利益** △2,231億円（前年同期に比べ2,335億円の減）

…燃料価格の高騰や円安の影響、卸電力取引市場の価格上昇による電力調達コストの大幅な増加など。

➤ **親会社株主に帰属する四半期純利益**

△2,303億円（前年同期に比べ2,328億円の減）

【連結決算の概要】

（単位：億円）

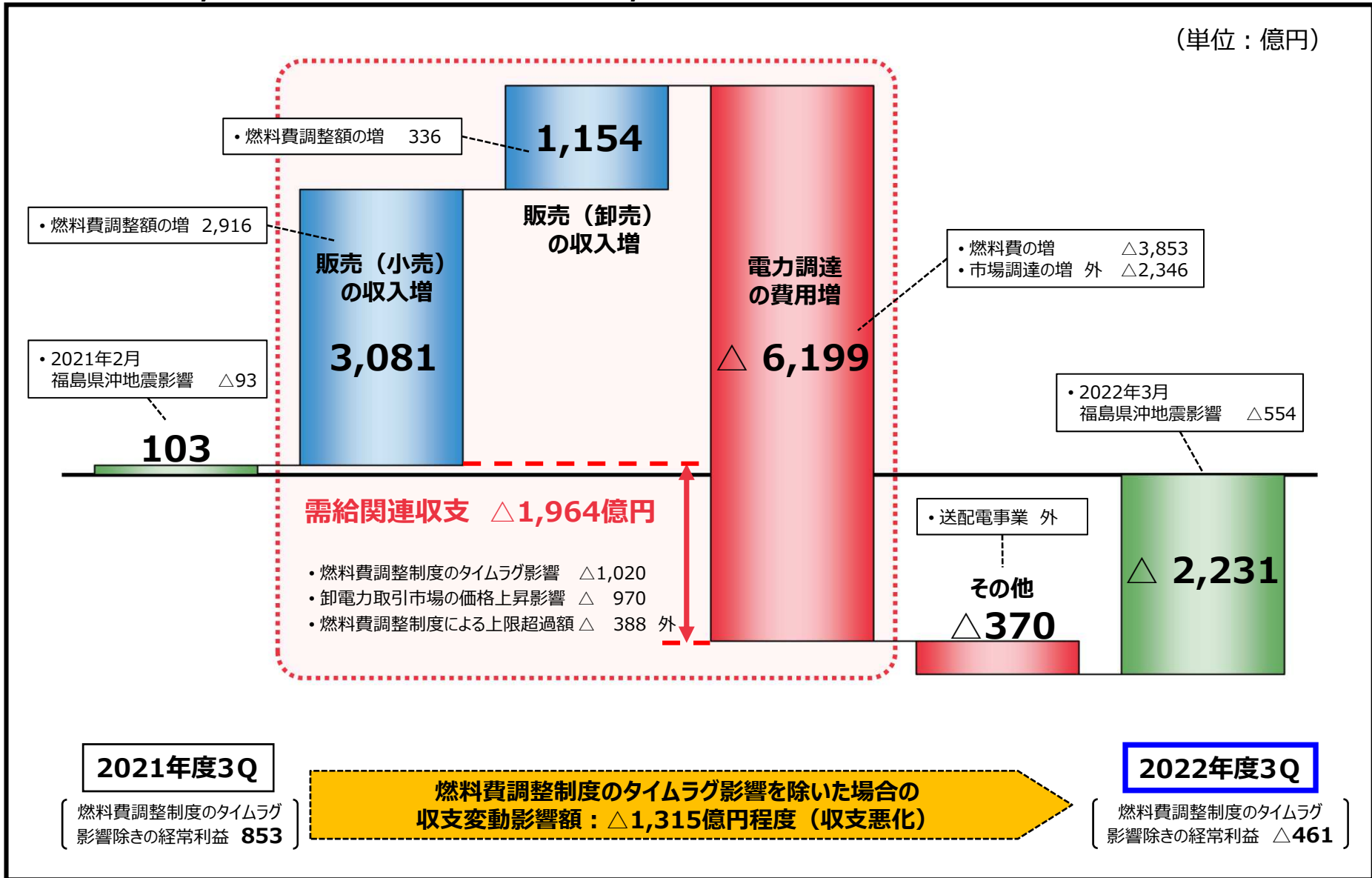
	2021年度3Q (A)	2022年度3Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売上高	13,989	21,324	7,334	152.4 %
経常利益 ^{※1}	103 [853]	△ 2,231 [△ 461]	△ 2,335 [△ 1,315]	— [—]
親会社株主に帰属する 四半期純利益	24	△ 2,303	△ 2,328	—
連結キャッシュ利益 ^{※2}	2,332	1,099	△ 1,232	47.1 %

※1 []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

※2 連結キャッシュ利益 = 営業利益 + 減価償却費 + 核燃料減損額 + 持分法投資損益（営業利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響を除く）

連結経常利益の前年同期からの変動要因

変動額 $\Delta 2,335$ 億円 (103億円 \rightarrow $\Delta 2,231$ 億円)



電力販売実績・主要諸元

➤ **小売** (電灯・電力) **471億kWh (前年同期に比べ3億kWhの減)**

…節電の影響や競争に伴う契約の切り替えによる減など。

➤ **卸売** **122億kWh (前年同期に比べ1億kWhの減)**

…エリア外への卸売の減など。

【電力販売実績】

(単位：百万kWh)

【販売実績】※1	2021年度3Q (A)	2022年度3Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
電 灯	13,607	13,219	△ 388	97.1 %
電 力	33,867	33,926	59	100.2 %
小 売 ※2 計	47,474	47,145	△ 329	99.3 %
卸 売 ※3	12,250	12,156	△ 94	99.2 %
販 売 計	59,725	59,301	△ 424	99.3 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「小売」は、事業用電力量を含む。

※3 「卸売」は、特定融通等を含む。

【主要諸元】

	2021年度3Q (A)	2022年度3Q (B)	増減 (B) - (A)
原油C I F価格 (\$ / b b l)	74.0	107.9	33.9
為 替 レ ー ト (円 / \$)	110	136	26
出 水 率 (%)	96.2	94.3	△ 1.9
原子力設備利用率 (%)	-	-	-

セグメント情報（連結）

5

（単位：億円）

	2021年度3Q (A)		2022年度3Q (B)		増減 (B) - (A)		主な増減要因
	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	
発電・販売	10,576	△ 15	16,075	△ 2,309	5,498	△ 2,294	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費調整額の増加により増収 ・燃料調達価格の高騰や円安の影響、卸電力取引市場の価格上昇による電力調達コストの大幅な増加により減益
	10,005		14,467		4,461		
送配電	5,136	256	8,417	81	3,280	△ 174	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ卸供給の取引量、単価の増加などにより増収 ・調整力・インバランスの単価増加などにより減益
	2,166		4,850		2,684		
建設	1,972	31	1,975	39	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・一般向け電気設備工事などの増加はあったものの火力関連工事の反動減により減収 ・材料費や外注費の減少により増益
	1,127		1,077		△ 49		
その他	1,462	109	1,729	123	267	13	<ul style="list-style-type: none"> ・在外子会社における有価証券売却などにより増益
	689		928		239		
小計	19,148	381	28,197	△ 2,064	9,048	△ 2,446	
調整額	△ 5,159	△ 277	△ 6,873	△ 166	△ 1,714	110	
連結値	13,989	103	21,324	△ 2,231	7,334	△ 2,335	

※ 売上高の下段は、外部顧客に対する売上高。

2022年度 業績予想（1）

6

➤ **売上高** **3兆800億円** **（前回予想に比べ3,400億円の増）**

…燃料価格の高騰に伴う燃料費調整額の増加など。

➤ **経常利益** **△2,400億円** **（前回予想に比べ400億円の減）**

…燃料価格の高騰や円安の影響、卸電力取引市場の価格上昇による電力調達コストの増加など。

連結業績予想

（単位：億円）

	前回発表予想 (2022年7月) (A)	今回発表予想 (B)	増 減 (B) - (A)	2021年度実績
売上高	27,400	30,800	3,400	21,044
営業利益	△ 1,800	△ 2,200	△ 400	△ 287
経常利益	△ 2,000	△ 2,400	△ 400	△ 492
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 1,800	△ 2,200	△ 400	△ 1,083
連結キャッシュ利益	1,300	1,000	△ 300	2,573

主要諸元

	前回発表予想 (2022年7月)	今回発表予想	2021年度 実績
販売電力量※ (億kWh)	小売	655 程度	662 程度
	卸売	171 程度	169 程度
	合計	826 程度	831 程度
原油CIF価格 (\$/bbl)	110 程度	104 程度	77.2
為替レート (円/\$)	130 程度	136 程度	112
原子力設備利用率 (%)	—	—	—

収支変動影響額

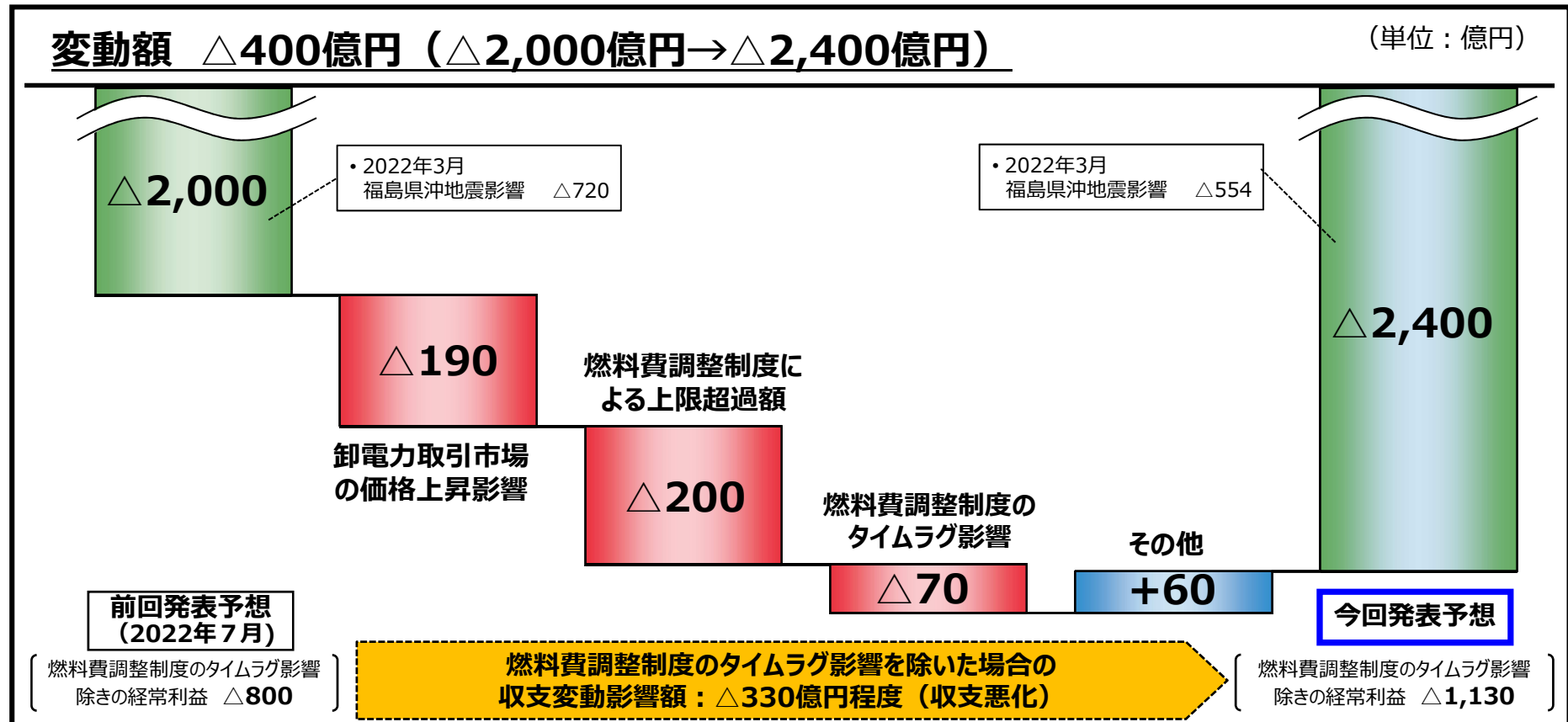
（単位：億円）

原油CIF価格(1\$/bbl)	28 程度
為替レート(1円/\$)	68 程度

※ 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

2022年度 業績予想（2）

■ 連結経常利益の変動要因（前回予想との比較）



■ 2022年度 配当予想（2022年7月公表時から変更なし）

（単位：円）

	中間	期末（予想）	年間（予想）
1株当たりの配当金	0	0	0